

津波からの避難！！

はじめに

平成23年3月11日の東日本大震災では、大津波により数多くの尊い命が失われました。

和歌山県沿岸部に津波被害を引き起こす可能性のある巨大地震として、東海・東南海・南海地震があげられます。これらの地震はほぼ100年から150年周期で発生しており近い将来、必ず発生すると言われていています。

津波に対しては、迅速に高台等に避難することが第一です。和歌山県警察では、津波対策として、次のような取組を行っています。

津波避難啓発用映像DVDビデオ

貸し出します

県警察では、津波による被災者ゼロを目指し、津波避難啓発用映像DVDビデオを製作しました。

各種会合・防災訓練等で上映しているほか、各自治会等に貸し出しを行っています。



タイトル：「より高く！より早く！！」

～津波からの避難～

時間：約15分

内容：主演の女性が、地域住民とともに、地震発生後、早期に高台へ避難する内容のショートドラマに、東日本大震災時の津波被災映像、避難時の留意事項、津波避難三原則等をテロップやナレーションで分かりやすく説明しています。

きしゅう君の津波避難ステッカー

津波避難先（場所）を示すステッカーを作成し、沿岸警察署において自治体及び自治会等と連携し交通道路標識柱等への貼付活動を行っています。



津波避難推進官講演活動

平成24年度から警察本部に津波対策を主任務とする「津波避難推進官」を配置しました。

津波避難推進官は、防災についての指示・指導を行うほか、各種会合や避難訓練等に出向いて、東日本大震災の体験に基づいた津波に関する講話等を行っています。



県民一体となった津波への備え

県警察では、毎月5日を「災害に備える日」に設定し、県警察内部で災害に関する教養や訓練、災害用装備資機材の点検・整備等を継続的に行い「災害に強い警察」を目指しています。

平素から、県民の皆様におかれましても、

- 生活している地域の海拔を確認しておく。
- 避難先（場所）・避難経路を歩いて確認しておく。
- 非常用持ち出し品を備え、点検しておく。
- 家族会議で「いざという時」のことを話し合っておく。
- 地域の避難訓練や講習会等へ参加する。

など、津波への備えをしておきましょう。



津波避難啓発用映像DVDビデオの貸し出し、きしゅう君の津波避難ステッカーの配布、津波避難推進官の講話等でご希望がありましたら

**和歌山県警察本部警備部警備課緊急事態対策室
(TEL 073-423-0110)**

若しくは、最寄りの警察署警備課にお問い合わせください。